

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	八王子市立子安保育園
-----	------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

- ・クラスの子どもたちの間でキャラクター「こびとづかん」への興味・関心が広がっている。現在も、こびとづかにちなんだごっこ遊びや制作活動、踊りなどを楽しむ姿が見られている。
- ・「こびと」は、生き物や草花、色、におい、形など、自然に関連したさまざまな種類が存在する。絵本『こびとづかん』やそのキャラクターをきっかけに、子どもたちが自然環境や未知のものへの興味を広げていくことを期待し、テーマとして設定した。

2. 活動スケジュール

- 5月～ 遊びを通した想像・創造(ごっこ遊び、制作、散歩など)
- 7月～ 想像・創造を活かした遊びの展開(遊びのアレンジ、図鑑作り、散歩 MAP 作りなど)
- 12月～ アイデアを共有し、多様な価値観に触れる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本・図鑑、工作用具(廃材、粘着テープ、のり、はさみなど)紙類(折り紙、模造紙、工作紙など)、制作素材(絵具、紙粘土など)、昆虫採集道具(虫取り網、かごなど)、顕微鏡

＜活動の内容＞

- ＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

-
- A young girl with dark hair, wearing a white cap and a green sweatshirt, is smiling and holding a small plant in her hands. She is standing in front of a building with a green roof and a fence. The background shows a clear blue sky and some trees.



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもがこびとを好きな気持ちを出発点として、自然や自然事象への興味へとつながり、意欲的に関わる姿が見られた。こびとは空想上の存在であるが、保育者がその特徴が自然と関連していることを理解したうえで、子どもの興味・関心に寄り添って関わることで、子どものイメージや遊びはより豊かに広がっていった。

子どもたちは空想を単なるイメージとして楽しむだけでなく、空想と現実を行き来しながら自然と結び付け、五感を使って遊びへと発展させていった。その過程が、新たな興味や探究心につながる貴重な機会となった。

今回の取り組みを通して、子どもの興味から遊びが広がること、さらに保育者がきっかけをつくることで想像以上の展開が生まれること、そして子ども自身がその力を十分に持っていることに気づくことができた。